

# 南大沢スマートシティ協議会 新たな実証プロジェクトの実施方法について

- ✓ 実証プロジェクトごとに、各委員に負担金の支払を募り、目途がいたら実施する。
- ✓ 費用負担が困難な場合は、実証フィールドの無償提供など金銭によらない方法での協力も可とする。
- ✓ 費用負担又は金銭によらない方法により協力いただいた委員には、実証データ等の取得、協議会広報への企業宣伝の掲出などができる。

区分		費用負担等	メリット
実証プロジェクトに合意した者	費用負担ができる	実証プロジェクトごとに定める <b>一口当たりの金額を最低金額として</b> 、その費用を負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>実証データ</b>の提供</li> <li>・ 協議会広報への<b>企業宣伝</b>の掲出</li> </ul>
	費用負担が困難	実証フィールド、通信環境又は自社サービスの無償提供等、 <b>金銭によらない方法</b> で協力	
	その他	負担なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開資料のみを提供</li> </ul>
実証プロジェクトに合意しなかった者	負担なし		

## 【今後のスケジュール（案）】

第2回協議会（10月20日）	実施要綱(案)の提示
第2回部会（12月1日）	プロジェクトの進め方等の決定、内容(案)の提示
第3回協議会（12月15日）	実施要綱・内容・負担方法の決定
令和6年1月～2月	新たな実証プロジェクトの実施
令和6年3月	報告・評価